

# 麻 酔 科

文責：吉田 光剛

## 概 要

(2021年4月～2022年3月)

常勤医 (7名)

河田竜一

(山口大学1989年卒 2006年11月より勤務)

副院長

吉田光剛

(山口大学1997年卒、2013年4月より勤務)

麻酔科科長

大城研司

(山口大学1985年卒、1990年1月より勤務)

平山かおり

(弘前大学1993年卒、2005年12月より勤務)

彼末行世

(山口大学2011年卒、2016年4月より勤務)

飯尾知明

(山口大学2018年卒、2021年4月より勤務)

駕瀧孝雄

(山口大学1974年卒、1981年1月より勤務)

非常勤医 (3名)

城下可那子、竹内 暢、松下結衣 (敬称略)

2021年4月に山口大学から上記の3名を週1回、1名ずつ派遣していただいた。常勤麻酔科医の増員に伴い、5月以降は常勤麻酔科医のみでまかなっている。

臨床研修医 (7名)

原田悠樹、栗栖卓哉、実近涼夏、和田隼輔、

御前 萌、堀 啓一、奥川結衣 (敬称略)

## 診 療

2021年度は、年度末にCOVID19の院内クラスター発生などがあり、手術の制限を余儀なくされた時期があったが、麻酔科管理手術症例は3067例で、前年度の3207例からのわずかな減少にとどまった。かなり忙しい日々を過ごすことも珍しくない中、手術室看護師とも協力しながら、少しでも効率よく手術室運営ができるように日々工夫している。緊急手術の申込も多いが、できる限りの工夫をして速やかに対応するように心がけている。

診療科別症例数では大きな変化はなかった。麻酔法では内視鏡手術、術後抗凝固療法の影響でエコーガイド下末梢神経ブロックを併用した麻酔が増え、硬膜外麻酔が減少している。時代と共に麻酔法も確実に変遷している (表1、2参照)。

前年度に新設されたハイブリッド手術室は、心臓血管外科の症例を中心に順調に稼働している。(表3参照)そして、2021年12月から、経カテーテル大動脈弁置換 (TAVI) がスタートしたことは、本年度の特筆すべきこととして挙げられる。治療の特殊性とハイブリッド手術室の立地条件などから、麻酔科医も手術室看護師も多くのマンパワーを要するが、該当日には他科の手術症例を多少制限させていただくなどの工夫をし、何とか順調に軌道に乗ったところである。今後も引き続き、安全な治療が行える場を提供していきたい。

今年度から、飯尾先生 (2018年山口大学卒) が新たに麻酔科スタッフに加わった。日々貴重な経験を積み重ねており、成長著しく、今後は楽しみである。従って、マンパワーとしては1名増の7名体制となっておりありがたいが、一方では山口大学からの非常勤医師の派遣が途絶えたため、相変わらず多忙な日々を過ごしている。それぞれが無理なく充実した仕事ができるように工夫しながら、スタッフの高齢化にも対応していきたい。

臨床研修医の多くが麻酔科をローテートしてくれた (上記参照)。当院麻酔科は担当する症例も多く、短期間で色々な経験を積むことが出来る。そして、手技のみならず、麻酔学の理論的背景も十分に教えられるように工夫して教育することが今後の課題である。

また、術後鎮痛への関与など周術期を意識した診療の展開もしてみたい。若くて常識のある麻酔科医の新規参入を求める。

表1. 2021年度 診療科別症例数（麻醉科管理以外を含む）

診療科	整形	外科	婦人	泌尿	形成	心外	眼	腎内	歯科	脳外	耳鼻	他	総計
症例数	1224	598	621	328	266	288	92	69	54	36	17	4	3597

表2. 2021年度 麻醉法別症例数

麻醉法	全麻	全麻+硬麻等	硬麻	硬麻+脊麻	脊麻	伝達麻酔	静脈麻酔等	総計
症例数	789	1530	1	111	300	238	98	3067

表3. 2021年度 ハイブリッド手術室稼働状況

診療科	心外	腎内	形成	婦人科	循内	総計	(心外 カテ室管理)	(循内 カテ室管理)	(他科 カテ室管理)	(カテ室管理 総計)
症例数	102	14	5	1	1	123	(50)	(29)	(3)	(82)